

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成29年6月13日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：松浦長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○松浦総務課長 それでは、皆様のお手元の広報日程に基づきまして、私の方から補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、1.、明日の原子力規制委員会についてでございます。議題としては5つございます。

まず、議題の1番目でございます。こちらは、本年の6月7日に国会で承認されました原子力の平和的利用における協力のための日本国政府とインド共和国政府との間の協定に関しまして、国際規制物資の使用等に関する規則の一部を改正する規則と、同じく国際規制物資を定める件の一部を改正する告示について、事務方で案を作りましたので、これについて原子力規制委員会です承を得るものでございます。

こちらにつきましましては、かなり形式的な改正になります。国際規制物資として供給当事者ごとに数量管理や報告の義務付けをしておりますので、これにインドを加えるということでございます。そういった形式的改正ですので、これについては、パブリックコメントについて、行わないことについても原子力規制委員会の了承を得るものでございます。

続きまして、議題の2番目でございます。こちらは、原子力規制庁におきましては、火山活動可能性評価に関しまして、安全研究を行っているところでございます。この安全研究を行っている中で、大山火山の事例について、降下火砕堆積物、火山灰についての知見について、既往の知見に比べて堆積物が厚いのではないかという知見が得られたところでございます。

こういうことを踏まえまして、この大山火山について、火山影響評価をしております若狭地域の原子力発電所、具体的には関西電力の美浜、高浜、大飯でございますけれども、これについて関西電力の評価をしているところでございますが、こういった知見を安全研究で原子力規制庁で得たものですから、関西電力についても、この大山の火山灰分布についての情報収集を行うことを要請するというものでございます。これについて原子力規制委員会の了承を得るものでございます。

続きまして、議題の3番目でございます。議題の3番目は、平成28年度の登録認証機関

等に対する立入検査結果についてでございます。こちらについては、RI規制に関する法律に基づきまして、登録認証機関等に対して立入検査を実施したところでございます。平成28年度の立入検査、全17登録機関について行ったところでございますけれども、その結果報告を原子力規制委員会にするものでございます。

続きまして、議題の4番目でございます。こちらはIRRS関連でございます。こちらは昨年11月22日の原子力規制委員会におきまして、IRRSで指摘されました人的及び組織的要因を設計段階で体系的に考慮することの要求ということで、原子力規制庁の対応として、根本原因分析評価ガイドの策定、安全文化ガイドの策定について報告し、原子力規制委員会の了承を得たところでございます。

今般、両ガイドの骨子について、原子力規制庁の方で案として取りまとめましたので、この案について原子力規制委員会にお諮りするとともに、今後、具体的なガイドの策定につきまして、外部専門家も含めまして検討チームを設置して検討していくことについて、原子力規制委員会の了承を得るものでございます。

続きまして、議題の5番目でございます。こちらは、本年4月に検査制度等の改正につきまして法律が成立したところでございます。これを踏まえまして、本年の7月1日に原子力規制庁の組織改正を行いたいと考えております。この組織改正のための政令と規則の改正について、原子力規制委員会の了承を得るものでございます。

続きまして、2ページ目でございます。6月15日木曜日、(3)番の審査会合でございます。議題は2つございます。

まず、東北電力・女川発電所2号機につきまして、これは1月17日に行いました耐震設計方針についてのコメント回答を東北電力の方から伺う予定でございます。

議題の2番目は、日本原電の東海第二発電所につきまして、シビアアクシデント対策の有効性評価、具体的には使用済燃料プールのシビアアクシデント対策につきまして、日本原電の方からお話を伺う予定でございます。

続きまして、同じく2ページ目、6月16日金曜日、(5)番、放射線審議会総会でございます。こちらの議題ですけれども、今後の調査審議の内容についてということでございますが、具体的には水晶体の等価線量限度適用に関する課題について、放射線審議会委員の先生から説明を受けまして、今後の議論について、審議会の中で議論をする予定でございます。

続きまして、(6)番、核燃料施設等の新規規制基準適合性に係る審査会合でございます。議題は2つございます。

まず、リサイクル燃料貯蔵のリサイクル燃料備蓄センター使用済燃料貯蔵施設につきまして、地震動評価についてのコメント回答を頂くとともに、基準地震動の策定について、リサイクル燃料貯蔵の方からお話を伺う予定でございます。

その後、JAEAのHTTRにつきまして、こちらにも基準地震動の策定について、JAEAの方からお話を伺う予定でございます。

私の方からは以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問の方をお願いします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。質問の方はよろしいですか。

シゲタさん。

○記者 NHKのシゲタです。

大洗の件で先週もお伺いしたのですけれども、現在、規制庁としての対応について、確認させていただいてもよろしいでしょうか。

○松浦総務課長 昨日またJAEAに来ていただきまして、お話を伺ったところでございます。その議事概要については、もう我々のホームページ上でアップしておりますので、それを見ていただければと思いますし、その際、今後、毎日JAEAの方に報告していただきたいということで、原子力規制委員会、規制庁としても状況把握に努めているところでございます。ということで、本日の夕方にもまたJAEAの方がいらっしゃるということで、その議事概要についても、またできるだけ速やかにホームページ上で公表したいと思っております。

○記者 委員会にかけるとすれば、法令報告が出てきた後という理解でよろしいのでしょうか。

○松浦総務課長 まだそこは決まっておられませんけれども、明日の委員会でも、先週の水曜日からまた進展等がございました。皆さん、報道等でもなされていますけれども、プルトニウムについての放医研の調査なども出ておりますので、そういったことも踏まえて事務方から報告もあると思っております。

○司会 ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—